

事務事業名	情報公開審査会事業				担当	総務部 総務課 総務文書係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名			
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成11年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市情報公開条例、真岡市情報公開審査会規則							
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費				
事業概要	真岡市情報公開条例による公開請求に対する処分の不服申立て及び、情報公開制度の重要事項について、実施機関（市長〔水道事業管理者含む〕、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、議会及び公平委員会）の諮問に応じて審査及び審議し、各実施機関に答申する。真岡市情報公開審査会委員は5名（大学教授や弁護士などの学識経験者）で任期は2年である。個人情報も関係することから、個人情報保護審査会を兼ねて開催している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 情報公開審査会の開催 ・ 定例会の開催 ・ 不服申し立ての審議 31年度計画 ・ 定例会の開催 ・ 不服申し立て及び情報公開制度の重要事項について、諮問があった場合に開催する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	情報公開審査会開催回数	回	1	1	2	1	2
イ	情報公開請求件数	件	28	28	30	31	30
ウ	情報公開件数	件	26	27	29	30	30
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 審査会に諮問された案件 不服申し立て件数	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	諮問された案件数	件	0	0	0	0	0
イ	不服申し立て件数	件	0	0	0	0	0
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 公平・的確に審議し答申する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	答申された案件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 行政の透明性が確保される。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	行政の透明性が確保された割合	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	不服申し立てに対し、客観性及び公平性を確保した審査をするとともに、情報公開制度の重要事項について審議を行うため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	情報公開や、個人情報を取り巻く法律が整備された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	